

保土ヶ谷区多文化共生まちづくりプラン

【概要版】

●保土ヶ谷区多文化共生まちづくりプランとは

- ・**趣旨**：保土ヶ谷区では、現在、約 5,500 人の外国人住民が暮らしており、出身の国籍・地域は 80 以上にわたります。本プランは、区が基本目標としている「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」について、日本人にとっても外国人にとっても「住み続けたい」と思えるまちの実現に向けて策定するものです。
- ・**計画期間**：令和 4（2022）年度から令和 7（2025）年度の 4 年間とします。

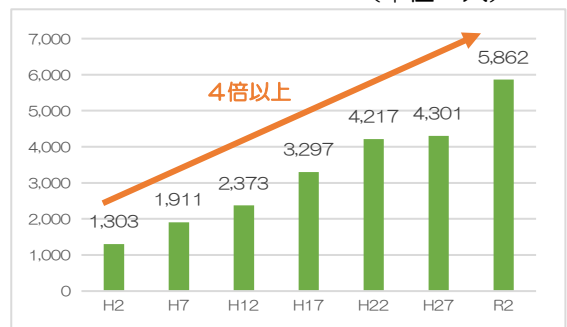
●データでみる保土ヶ谷区の外国人住民の状況

★増加する外国人数

- ・保土ヶ谷区では市内で 6 番目に外国人住民が多く暮らしています。
- ・外国人数は 30 年間で 4 倍以上に増えています。
- ・令和 2（2020）年 3 月末には、5,862 人となりました（コロナ禍の影響等により、令和 3（2021）年 3 月末現在は 5,509 人でした。）。

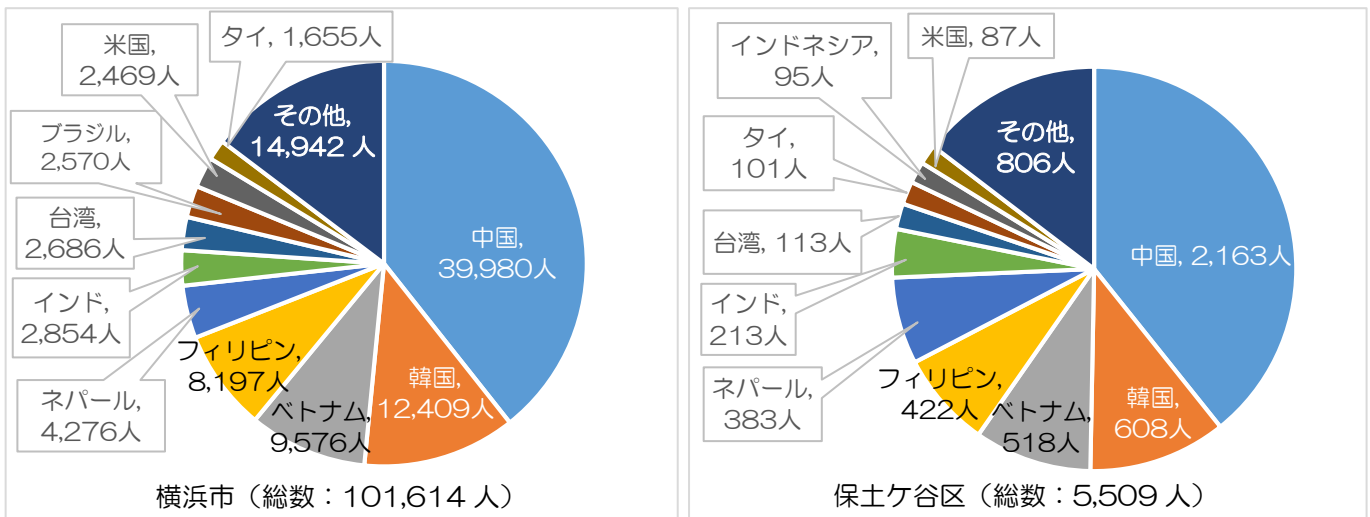
資料：住民基本台帳 各年 3 月末日現在

■保土ヶ谷区における外国人数の推移
(単位：人)



★出身の国籍・地域の状況

■横浜市及び保土ヶ谷区における国籍・地域別割合



資料：住民基本台帳 令和 3（2021）年 3 月末日現在

●保土ヶ谷区における課題

区内にお住まいの外国人や日本人の方に直接お話を伺ったところ、次のような課題が浮かび上がってきました。

- 課題 1 「言葉の壁」への対応が、生活する上での最大の課題です。
- 課題 2 多文化共生意識の醸成と、豊かな多文化交流が求められています。
- 課題 3 外国人住民が参加し、活躍する地域づくりが求められています。
- 課題 4 ほどがや国際交流ラウンジの機能強化が求められています。

●こんな「多文化共生のまち」をめざします

基本理念 多様な人と文化がつながり支え合い 未来を創るまち ほどがや

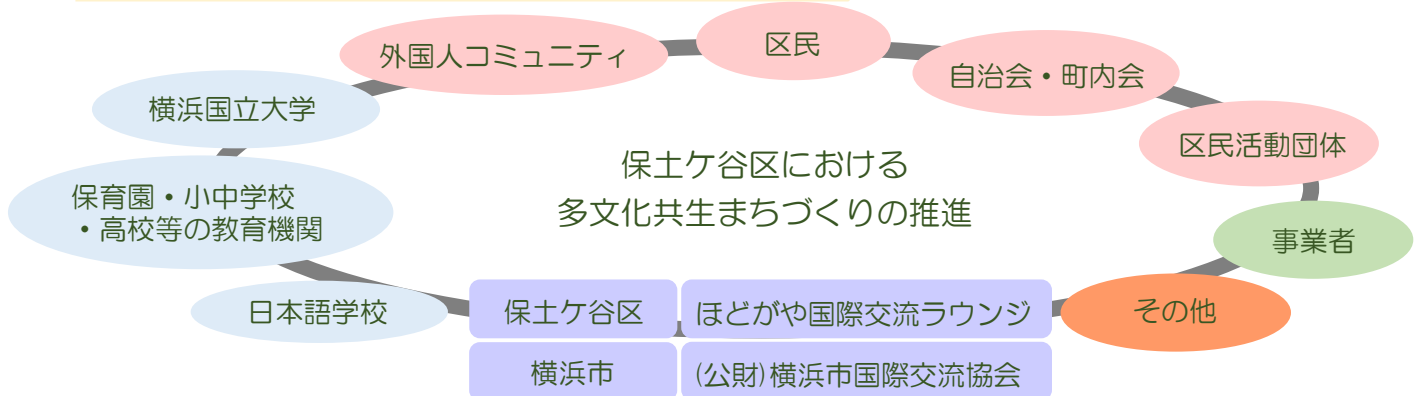
●保土ヶ谷区多文化共生まちづくりの基本方向

★基本方針と施策

基本理念の達成に向けて、3つの基本方針と6つの施策を掲げ、取組を進めていきます。

基本理念	基本方針	施策	主な取組
多様な人と文化がつながり支え合い 未来を創るまち ほどがや	1 情報提供・相談体制の充実	情報の多言語化の推進	①区役所における多言語対応の充実
		相談体制の強化	②やさしい日本語での対応促進
		日本語学習支援の充実	③相談対応ネットワークの充実
	2 多文化交流の推進	多文化共生意識の醸成	④日本語学習支援の充実
		多文化交流の体制の充実	⑤子ども・子育て期からの意識づくり
			⑥地域や職場における意識づくり
	3 外国人住民の参加・活躍の促進		⑦保土ヶ谷区ならではの交流事業の充実
		地域の一員としての参画及び活躍の促進	⑧担い手の育成
			⑨コーディネート機能の充実
			⑩地域の一員としての参画及び活躍の促進

★保土ヶ谷区多文化共生まちづくりプラン推進体制



お問合せ先 保土ヶ谷区役所区政推進課【TEL】045-334-6227【FAX】045-333-7945【E-mail】ho-tabunka@city.yokohama.jp

